

広島ワイズライオンズクラブ杯第1回 U14 四国・中国ブロックバスケットボール交歓大会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン

1 参加するすべての方々へ 参加する皆様には、以下の項目を遵守していただきます。

- (1) チーム内に感染防止対策責任者をおき、チーム内の感染防止に努めるとともに、すぐに連絡が取れるようにしておく。
- (2) 選手・スタッフの「健康チェックシート」について、
大会初日は、1週間前からの「健康チェックシート」
大会2日目は、1日用「健康チェックシート」を利用して、1日ごと提出すること。
観戦者は、「観戦者事前集約表」を1日ごと提出すること。
平熱を超える発熱の方は来場しないことを徹底する。
(各県の感染防止対策責任者が、まとめて提出すること)
- (3) 体調管理の徹底をする。
→以下の項目に当てはまる方は、参加を見合わせることを。(下記の2.大会参加の可否判断についてに沿って対応すること。)
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ④ 嗅覚、味覚の異常
 - ⑤ 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
 - ⑥ 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる
 - ⑦ 直近2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (4) **競技中以外はマスク着用をする。競技中もスポーツマスク等の着用を推奨する。**
試合後の対戦チーム、審判、TO への挨拶は、すべて行わない。
- (5) ベンチメンバーは、声を出しての応援は自粛する。特にヘッドコーチがプレーヤーに対して指示を出す際にマスクを外すことが無いよう十分に気を付けること。観戦者は、拍手のみで応援すること。
- (6) ベンチ、オフィシャルズテーブル等の消毒は、1回の消毒で何日も効果が持続する消毒液を使用する。試合後のベンチの消毒は、不要である。ただし、**選手、スタッフは、試合の前後で必ず手指消毒は行うこととする。選手、スタッフの手指消毒は、各県で準備すること。**
- (7) 選手・スタッフ・観戦者の会場への入館開始時間について
(第1次お知らせとお願いを変更しています)
2月25日(土) 10:30～
2月26日(日) 8:20～

2 大会参加の可否判断について

- ① 大会開催前または開催中、ベンチメンバーに体調不良者が発生した場合の対応は、以下の通りとする。
 - ア) 医療機関を受診し、PCR 検査等を受け、医師の診断を受けることとする。
陽性が確認された場合は、ベンチメンバー全員が PCR 検査等を受け、陰性が確認された者のみが大会に参加できる。
結果が出るまで時間がない場合は、チームまたは各自で「体外診断用医療品」と記された抗原検査キットで検査する。結果は、名前と日付を書き、メーカー名が分かる外箱や袋もスマートフォンなどで撮影する。チーム代表者は、必ず確認をすること。**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
 - イ) 複数の陽性者が発生し、チーム内でのクラスターが疑われる場合は、チームの参加を辞退すること。
 - ウ) 上記ア・イが発生した場合は、速やかに大会本部に連絡し対応の指導を仰ぐ。
- ② 大会開催中、対戦相手に陽性者が判明した場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) チームまたは各自で「体外診断用医療品」と記された抗原検査キットで検査する。結果は、名前と日付を書き、メーカー名が分かる外箱や袋もスマートフォンなどで撮影する。チーム代表者は、必ず確認をすること。**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
 - イ) 複数の陽性者が発生し、チーム内でのクラスターが疑われる場合は、チームの参加を辞退すること。
 - ウ) 上記ア・イが発生した場合は、速やかに大会本部に連絡し対応の指導を仰ぐ。
- ③ 大会開催後に陽性者が判明した場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) 大会参加後 5 日以内に、参加チーム及び関係者から陽性が判明した際は、当該チーム及び関係者は大会本部に連絡する。
- ④ 選手の同居家族に陽性者がいるなど、濃厚接触者に該当する場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) 検査をしない場合は、感染者との最後の接触から 6 日目から大会に参加できる。
 - イ) 検査をする場合は、最後の接触から 2 日目及び 3 日目の**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
- ⑤ 学年・学級閉鎖中の場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) 生徒・保護者が大会参加を希望し、当該選手に発熱等の症状がない場合は、大会直前に検査を行い、**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
- ⑥ **選手またはスタッフは、各自が「体外診断用医療品」と記された抗原検査キットを購入して、抗原検査キットと体温計を広島県に持参しておくこと。**